

セブン-イレブン・インドネシア



**HULFTは海外企業でもその実力が高評価！
約120店舗との商品マスタ、発注情報の
確実なやり取りで売上機会損失を完璧に解消！**



セブン-イレブン・インドネシア

HULFTは海外企業でもその実力が高評価! 約120店舗との商品マスタ、発注情報の 確実なやり取りで売上機会損失を完璧に解消!

2009年よりインドネシアでセブン-イレブン店舗を展開するModern PutraIndonesiaは、本部と各店舗との商品マスタや発注情報などのやり取りに、信頼性を重視してHULFT7eを導入。従来遅れがちだった店舗からの発注情報を定刻かつ確実に収集することが可能となり、ビジネススピードが劇的に向上。さらに正確な商品納入によって商機を逃すこともなくなった。さらに毎週数千ページを超える紙の発注台帳廃止によってプリント代など大幅な経費削減を実現。さらに人手に頼った発注情報の編集作業を完全撤廃することができ、入力ミスや遅れの解消にもつながっている。まさに、HULFT7eはインドネシアにおけるセブン-イレブンの急成長を支えるデータ連携基盤となっている。



PT. Modern PutraIndonesia
IT Director
Sonny A. Liauw 氏



株式会社野村総合研究所
上席システムエンジニア
流通グローバル事業推進部
工藤 祐記氏

2009年4月、コンビニエンスチェーン世界最大手の7-Eleven, Inc. (本社テキサス州ダラス)とインドネシア現地企業、Modern PutraIndonesia (以下MPI)がマスターフランチャイズ契約を締結。同年11月インドネシアにおけるセブン-イレブン1号店がオープン。各種業務システムを担当する野村総合研究所 (以下NRI)の上席システムエンジニア 流通グローバル事業推進部の工藤祐記氏は次のように振り返る。「7-Eleven, IncとMPIは、セブン-イレブンを展開する上で、まずは本部側も店舗側もコンビニビジネスの本質を手作業で身をもって学んでいくことを重要視しました。したがって、各種業務システムについても、最小限の範囲でスタートしました」。

当時の業務システムは、本部側が商品マスタを入れたUSBメモリと紙に出力された発注台帳を各店舗に本部スタッフが足で配布。各店舗のスタッフは、受け取ったUSBメモリより自店舗のストアコンピュータの商品マスタを更新、また、配布された発注台帳を元に売上実績、在庫状況、必要な仕入れ個数などをチェックし、次回の発注情報としてストアコンピュータに手入力していた。入力した発注情報は、電子メールが送信可能な別のパソコンを使い、メールに添付した上で本部へ送信するという作業を繰り返して

いた。本部スタッフは全店舗から送られてきたメールによる添付ファイルを編集し、仕入先 (お弁当をつくる会社など) に発注の連絡を行っていたのである。

店舗数が増えるとともに 手作業に頼る仕組みは限界に

しかし、店舗数が増えると、人手に頼る仕組みでは大変な労力が必要なため、さまざまな問題が発生することになる。発注台帳は週によっては数千から1万ページ以上に及んでおり、それを本部でプリントするために、平日も休日もなく24時間プリンターを動かし続けなければならない週もあった。この結果、用紙やトナーの補充といったプリンターのメンテナンスのため本部の担当スタッフは平日の夜間に加え、週末の出勤を強いられていた。

2011年の秋に50店を超えるくらいから、もはや従来の手作業による運用方法は限界を迎えていた。

将来の店舗数の増加、流量制御 信頼性などの視点で選択

そこでNRIの工藤氏は、インドネシアの通信ネットワーク事情を考慮した、信頼性のあるデータ連携パッケージの提案の準備を進めた。

効率的なデータ連携を実現するため

User Profile

Modern PutraIndonesia

本社
Jl. Matraman Raya 12, Jakarta Indonesia

営業開始 (1 店舗目)
2009年11月7日

店舗数
117 店 (2012年12月末現在)

事業内容
インドネシア国内でのセブン-イレブン運営ライセンスを持ち、コンビニエンスストア事業を展開。経済、消費市場の成長著しいインドネシアの中で、お客様の立場に立った価値ある商品、サービスを提供しつづけている。

に、この提案のコア部分にはセゾン情報システムズのHULFTをはじめ数社の製品のメリット・デメリットが検討された。選択にあたって重視されたポイントは

1. コンビニエンスストアで特に重要な発注データを早期に確実に転送すること。信頼性が高く、確実に集配信できること。特にインドネシアの通信事情は日本と比較して優れているとは言えないため、送りたいデータがきちんと送られているか、ネットワークの障害などで送られないときにどのようにリトライするかも重要。
2. 将来さらに店舗数が増えた際にもスムーズに効率的に集配信できること。店舗が増えた際に一斉に集配信するのではなく、データに優先順位をつけて送るというような流量制御を本部側からコントロールできること。
3. なるべく作りこみをしなくて良いパッケージであること。本部側と店舗側のそれぞれの業務システムに大きな影響を与えないこと。また、業務システムとの連携（ジョブ連携）が容易にできること。

HULFTは以上のようなポイントをすべて満たしていた。

NRIの工藤氏はセゾン情報システムズの技術担当者とコンタクトを重ねることで、HULFTの優れた機能を理解するとともに、疑問を解消していったという。

「HULFTは日本で高い導入実績をもち、安定したデータのやり取りが可能だと提案しました。またHULFTには『HULFT7e』という英語版があり英語OS上で動くこともグローバルビジネスには欠かせません」（工藤氏）。

NRIからの提案に対して、MPIのIT DirectorであるSonny A. Liaw氏からは素早い回答があり、HULFTの導入が決定。システムインテグレーションは、日本国内にいるNRIの技術者が担当した。その技術担当者のHULFT7eへの評価を工藤氏は次のように語る。

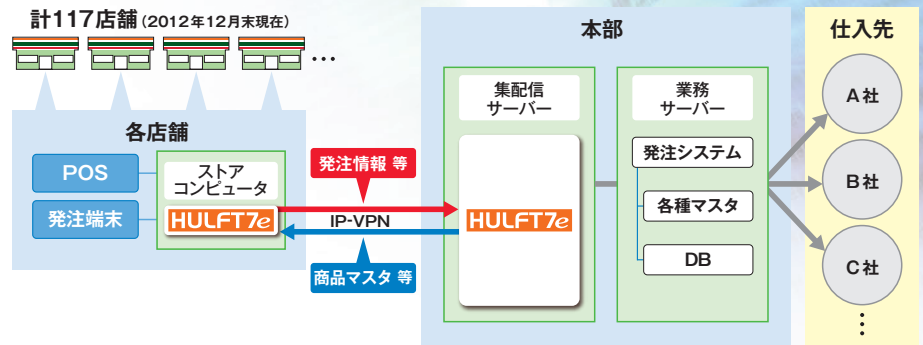


図 HULFTによる本部と各店舗のデータ連携イメージ

本部からは、商品マスタや店マスタ、POSレジに表示される販促用の画像データや更新プログラムが、即時、全店一斉に配信が可能になった。店舗からは、発注・売上・在庫・納品確認などの業務データが送信され、定時に正確なビジネスプロセスが実現された。

「HULFT7eはAPIがとても充実していてとても開発しやすかった、セゾン情報システムズのテクニカルサポートセンターの対応がとても丁寧で確だったと聞いています。また、英語だけではなく、日本語のマニュアルがあったことも助かったようです。セゾン情報システムズにはこうした技術面でのサポートだけでなく、運用面についてもきめ細かく配慮していただきました」。

HULFT7eは2012年8月から順次各店舗に導入され、全117店舗で稼働している（2012年12月末現在）。本部から各店舗へのデータ配信は1日最大10ファイル、失敗時のリトライも含めて延べ24回程度、各店舗からのデータ集信は1日約8ファイルを全店舗分行っている。

信頼性の高いデータ連携で ビジネスサイクルが早くなった

HULFT7e導入による効果をMPIのSonny氏は次のように語る。

「信頼できるファイル転送パッケージソフトを使ったデータ連携の実現で、コンビニエンスストアのビジネスにとって最も重要なスピードと正確性を確保できました。コスト削減のソリューションにもなっています」。

USBメモリで商品マスタを各店舗に持参していたときは、全店舗に行き渡るには2～3日かかっていたが、HULFT7e導入後は即日の反映が可能となり、ビジネスサイクルが大幅に改善された。

コンビニエンスストアビジネスの命運

を握る店舗からの商品発注についても、格段に速く、正確になった。従来は朝10時を締め切りとし、それまでに発注情報を電子メールで本部宛に送るルールだったが、人手を介するため10時を過ぎることも多かった。その結果、商品仕入先への発注が大幅に遅れ、納品が間に合わなくなり、商機を逃すことも度々あったという。

HULFT7e導入後は朝10時の締め切りには、全店舗から遅れることなく発注情報が届き、11時にはすべての仕入先に発注情報を送ることができるようになった。また、手入力による個数の打ち間違いなどもなくなり、正確さも実現。さらに、紙の発注台帳が不要になったため、プリンターの紙やトナーも大幅にコスト削減でき、担当者が週末に出勤する必要もなくなった。

「HULFT7eによる迅速で信頼性の高い本部と店舗間のデータ連携によって、ビジネスチャンスを見逃すことがなくなったことは大きな収穫です」とSonny氏は語る。

近い将来にはインドネシアにおいて、1千店舗を超える見通しのセブン-イレブンを。今後もHULFT7eは、この急成長を支え続けるとともに、さらにその先のビジネス拡大の成功を力強くサポートしていく。

お問い合わせ

株式会社 セゾン情報システムズ

HULFTフリーダイヤル ☎ 0120-80-8620

※利用時間 9:15～17:45（土・日・祝日および年末年始を除く）

E-mail: hulft@saizon.co.jp

<http://www.hulft.com/>



- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。

SAISON
INFORMATION
SYSTEMS
CO.,LTD.

【お問い合わせ先】

株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620

※利用時間 9:15～17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT事業部

〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

関西事業所

〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル 4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2013年5月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。

201305-3000-1